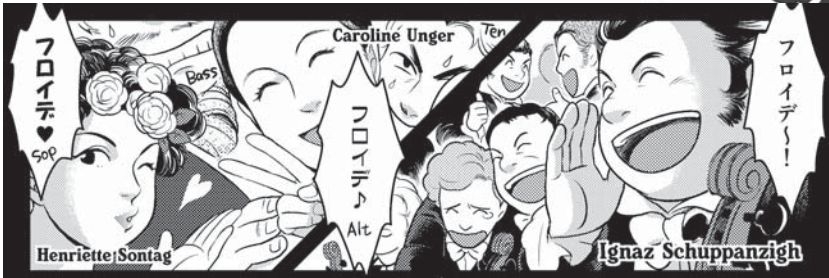


第2弾? 号外 ベートーヴェン 猛獣再来 ボンスポ 第九 初演騒動



↑ライバル・ゲリネク氏を倒して上機嫌の往年のベートーヴェン氏

1824年5月7日、ウィーン・ケルントナー劇場にて、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(53)の新作「交響曲第九番」が初演。万雷のブラヴォーとフロイデの歓声の中、警察が度重なるアンコールを阻止し、現場は騒然。音楽史に残るスキャンダラスなシーンとなった。



「実は彼がこの交響曲を書くきっかけを与えたのは僕でして」と驚くべきスクープを小紙に明かしたのは、ボン出身の愛弟子フェルディナント・リース(39)。なんと、この前

「第九のきっかけは僕でした」

「なにセシラーといえは、ボンの連中にとつての青春の詩人ですから。もし再演があるとしたら、当然、愛弟子の僕としても一役買いたいですね」我らが地元にもフロイデの絶唱がどろく可能性アリか?

「愛弟子氏、師匠の仰天エピソードを大暴露!」

代末間の「合唱付き」交響曲は、彼が旧師のためにプランニングした英国招聘計画に基づいて構想され、本来はロンドンで初演されるはずであったという。「しかし残念ながらそれは大人の事情で...」(以下検閲により削除)。それにしても、あの保守的なウィーンで暴れてのけるとは、さすがはかつて猛獣と呼ばれた先生です。コンサートマスターをあの悪友シュパンツィヒ氏が務めたというのも何やら運命的ですねと苦笑。とはいえ、この交響曲に対しては、同郷人、そして二十年來のおとし師弟(?)ゆえの未練がありそうな様子。

ならぬ「猛獣再来」を果たしたベートーヴェンであるが、その音楽活動やプライベートについて、愛弟子氏はまだまだ多くの暴露情報を持っているとのこと。その全容は既刊「運命と呼ばないで」に描かれているので注目あれ。

第九の陰の仕掛人? 愛弟子リリース↓

ベートーヴェン、衝撃のギャグ4コマ漫画化!! 公式サウンドトラックも同時リリース!!

まずは1曲 Amazon MP3で 無料ダウンロード! 期間限定!(2015年1月末日まで)

Amazonのアカウント+ スマートフォンで今すぐDL!

ズンドコマーチ で検索 運命と呼ばないで 公式サウンドトラック 「ズンドコマーチ頂上決戦」 アルバム価格1,000円(税込) 全50トラック

Amazon MP3 iTunes Store 配信

作:NAXOS JAPAN 画:IKE 発行所:株式会社 学研パブリッシング 発行元:株式会社 学研マーケティング ■A5判/口絵8頁+128頁/4C+1C ■本体価格 1,000円(税別)

音楽家とは、何なのか。

指揮者・佐渡裕氏、推薦。

「運命と呼ばないで」特設ページ http://naxos.jp/special/no_unmei

※本紙は、史実をベースにした創作物です。